

平成26年度第6回川崎区区民会議

だれもがいきいき暮らす部会摘録

日時：平成26年12月19日（金）午後6時30分

場所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 5名

新井トキ子、石渡勝朗、知念ジョアンナ、原千代子、畑敏雄

欠席 荒巻裕子、中村紀美子、朴昌浩、森脇卓郎、山田義孝

参与 0人

傍聴 1人

1 開会

事務局＜会議の成立、会議の公開、会議の事前公表、会議録の摘録公表、摘録の確認、写真撮影を説明。傍聴の有無の確認。配布資料の確認＞

2 部会長あいさつ

3 議題

(1) 課題解決に向けた取組みの方向性について（資料1～4）

事務局＜資料1～4、参考資料1～3について説明＞

原部会長 本日は各審議テーマについて、課題をふまえながら、どのような取組みを行っていくかを議論したいと思います。

まず審議テーマ1「地域における見守り活動の充実」について、今まで出たご意見としては、各団体で実施している高齢者や子ども、障害者などを見守る活動の実態調査と各団体の連携の検討というものがありません。本日は具体的な内容を詰めていきたいと思っております。何かご意見はありますか。

畑委員 活動事例については資料2に表でまとまっているので、これで大体網羅されていると思っております。

一つ考えられるのは、訪問型や見守り型ではなく、本人が自己認識して、積極的に外に出ていくお出かけ型です。受け身ではなく、本人たちが意識して「見守られる」ことが重要だと思っております。

原部会長 畑委員や山田委員は見守りに関する様々な活動をされていると思いますが、調査の具体的なイメージはありますか。

畑委員 社会福祉協議会では様々なことをやっていて、例えば、子育て支援グループの関係団体の活動の状況調査だったり、ボランティアセンターの方でも様々な調査をやったりしています。市の地域包括ケア推進室でも様々なデータは揃っていると思います。

石渡委員 区民会議の部会としては、そろそろ一定の具体的な目処をつけていかないといけないので、ただ議論していても埒が明かないのではないかと思います。ある程度の成果を出さなければいけないと思います。それをふまえて考えると、とにかく実態調査をやりましょうということなので、どんな調査をして何を明らかにするのかを具体的に考えないといけないし、調査する対象をどのような団体に絞っていくのかを考えなくてはならないと思います。

新井委員 民生委員でも見守り活動をやっていて、9月から12月まで調査活動を現在行っています。調査の内容としては、ひとり暮らしであるか、高齢者世帯であるかという区分けを行い、ひとり暮らしの場合は、本人に何かあった場合の連絡先を聞いたり、本人の健康状態がどうかということを聞いたり、民生委員から見てもどうかといった情報などを調査しています。基本的には75歳以上を基準に、見守りが必要か否かを見極めるための調査です。

また、老人会の方でも見守りを行っているが、活動の連携が取れていないので、繋がりが無い状況です。それでは勿体無いと思うので、民生委員や町内会と連携できればと考えています。

畑委員 形としては、対象としては見守り活動を実施している団体の調査であるから、調査の方法としては郵送のアンケート方式で行うか、出向いてヒアリングを行うかということになると思います。また、団体の選定であるが、その団体がどういった範囲で活動しているのかも大きな焦点になります。町内会単位なのか、区全体なのか、区外もやっているのかなどエリアが重要になってきます。調査の内容としては、活動の名称は基本として、見守りの対象はどういった方々か、どういった活動をしているのか、見守る側の方々は、どういった方々か、財源は何かなどがあると思います。また、どの程度詳細に聞

くのかも ^{かんが} 考えなければいけません。 ^{こま} 細かく ^き 聞きすぎても ^{しゅうしゅう} 回収 ^{おも} がつかなくなると ^{おも} 思うので、 ^{ぐたいてき} どこまで ^き 具体的に ^{おも} 聞くか ^{おも} だと思います。

^{いしわたいいん} 石渡委員 ^{すこ} やはり ^{ろんてんせいり} ここで ^{おも} 少し ^く 論点 ^{おも} 整理 ^{おも} を ^{おも} しない ^{おも} とい ^{おも} けない ^{おも} と思 ^{おも} います。 ^く まず、 ^く 区 ^{おも} 民 ^{おも} 会 ^{おも} 議 ^{おも} が ^{おも} 主 ^{おも} 体 ^{おも} と ^{おも} な ^{おも} っ ^{おも} て ^{おも} 実 ^{おも} 態 ^{おも} 調 ^{おも} 査 ^{おも} を ^{おも} す ^{おも} る ^{おも} と ^{おも} い ^{おも} う ^{おも} こ ^{おも} と ^{おも} だ ^{おも} す。 ^{おも} 様 ^{おも} 々 ^{おも} な ^{おも} 団 ^{おも} 体 ^{おも} が ^{おも} そ ^{おも} れ ^{おも} ぞ ^{おも} れ ^{おも} 各 ^{おも} 々 ^{おも} に ^{おも} 調 ^{おも} 査 ^{おも} な ^{おも} ど ^{おも} を ^{おも} 行 ^{おも} っ ^{おも} て ^{おも} い ^{おも} て、 ^{おも} そ ^{おも} れ ^{おも} は ^{おも} 参 ^{おも} 考 ^{おも} 参 ^{おも} 考 ^{おも} に ^{おも} す ^{おも} る ^{おも} べ ^{おも} き ^{おも} だ ^{おも} す ^{おも} が、 ^{おも} あ ^{おも} く ^{おも} ま ^{おも} で ^{おも} も ^{おも} そ ^{おも} れ ^{おも} は ^{おも} 参 ^{おも} 考 ^{おも} に ^{おも} す ^{おも} ぎ ^{おも} ず、 ^{おも} 区 ^{おも} 民 ^{おも} 会 ^{おも} 議 ^{おも} が ^{おも} アン ^{おも} ケ ^{おも} ー ^{おも} ト ^{おも} を ^{おも} 作 ^{おも} 成 ^{おも} し、 ^{おも} 調 ^{おも} 査 ^{おも} を ^{おも} 実 ^{おも} 施 ^{おも} す ^{おも} る ^{おも} と ^{おも} い ^{おも} う ^{おも} こ ^{おも} と ^{おも} が ^{おも} 基 ^{おも} 本 ^{おも} に ^{おも} な ^{おも} り ^{おも} ま ^{おも} す。 ^{おも} ま ^{おも} た、 ^{おも} 区 ^{おも} 全 ^{おも} 体 ^{おも} を ^{おも} 調 ^{おも} 査 ^{おも} 対 ^{おも} 象 ^{おも} と ^{おも} す ^{おも} る ^{おも} の ^{おも} か、 ^{おも} あ ^{おも} る ^{おも} い ^{おも} は ^{おも} 地 ^{おも} 域 ^{おも} を ^{おも} 絞 ^{おも} っ ^{おも} て ^{おも} モ ^{おも} デ ^{おも} ル ^{おも} 的 ^{おも} に ^{おも} 調 ^{おも} 査 ^{おも} を ^{おも} す ^{おも} る ^{おも} の ^{おも} か ^{おも} ど ^{おも} う ^{おも} か ^{おも} 考 ^{おも} え ^{おも} る ^{おも} べ ^{おも} き ^{おも} だ ^{おも} と ^{おも} 思 ^{おも} い ^{おも} ま ^{おも} す。

さらに、 ^{おも} アン ^{おも} ケ ^{おも} ー ^{おも} ト ^{おも} の ^{おも} 内 ^{おも} 容 ^{おも} を ^{おも} ど ^{おも} う ^{おも} す ^{おも} の ^{おも} か ^{おも} で ^{おも} す ^{おも} が、 ^{おも} 私 ^{おも} と ^{おも} し ^{おも} て ^{おも} は ^{おも} そ ^{おも} ん ^{おも} な ^{おも} に ^{おも} 細 ^{おも} か ^{おも} く ^{おも} 聞 ^{おも} か ^{おも} な ^{おも} く ^{おも} て ^{おも} も ^{おも} 良 ^{おも} い ^{おも} と ^{おも} 思 ^{おも} い ^{おも} ま ^{おも} す。 ^{おも} 活 ^{おも} 動 ^{おも} 内 ^{おも} 容 ^{おも} は ^{おも} も ^{おも} ち ^{おも} ろ ^{おも} ん ^{おも} で ^{おも} す ^{おも} が、「 ^{おも} 活 ^{おも} 動 ^{おも} の ^{おも} 中 ^{おも} で ^{おも} 問 ^{おも} 題 ^{おも} 点 ^{おも}、 ^{おも} 課 ^{おも} 題 ^{おも} 点 ^{おも} は ^{おも} あ ^{おも} り ^{おも} ま ^{おも} す ^{おも} か」 ^{おも} 「 ^{おも} 活 ^{おも} 動 ^{おも} の ^{おも} 良 ^{おも} い ^{おも} 所 ^{おも} は ^{おも} あ ^{おも} り ^{おも} ま ^{おも} す ^{おも} か」 ^{おも} と ^{おも} い ^{おも} っ ^{おも} た ^{おも} こ ^{おも} と ^{おも} を ^{おも} 聞 ^{おも} け ^{おも} ば ^{おも} 良 ^{おも} く ^{おも} て、 ^{おも} ひ ^{おも} と ^{おも} ま ^{おも} ず ^{おも} 区 ^{おも} 民 ^{おも} 会 ^{おも} 議 ^{おも} 名 ^{おも} 義 ^{おも} で ^{おも} アン ^{おも} ケ ^{おも} ー ^{おも} ト ^{おも} を ^{おも} 行 ^{おも} う ^{おも} こ ^{おも} と ^{おも} が ^{おも} 大 ^{おも} 切 ^{おも} だ ^{おも} と ^{おも} 思 ^{おも} い ^{おも} ま ^{おも} す。 ^{おも} そ ^{おも} の ^{おも} た ^{おも} め、 ^{おも} 当 ^{おも} 面 ^{おも} と ^{おも} し ^{おも} て ^{おも} は、 ^{おも} 地 ^{おも} 域 ^{おも} の ^{おも} 範 ^{おも} 圍 ^{おも} と ^{おも} 具 ^{おも} 体 ^{おも} 的 ^{おも} な ^{おも} 団 ^{おも} 体 ^{おも} の ^{おも} ピ ^{おも} ッ ^{おも} ク ^{おも} ア ^{おも} ッ ^{おも} プ ^{おも} を ^{おも} 行 ^{おも} う ^{おも} 作 ^{おも} 業 ^{おも} に ^{おも} な ^{おも} り ^{おも} ま ^{おも} す。

^{はらぶかいちょう} 原部会長 ^く そもそも ^く 区 ^{おも} 民 ^{おも} 会 ^{おも} 議 ^{おも} 名 ^{おも} で ^{おも} アン ^{おも} ケ ^{おも} ー ^{おも} ト ^{おも} を ^{おも} 行 ^{おも} っ ^{おも} た ^{おも} 場 ^{おも} 合 ^{おも}、 ^{おも} 回 ^{おも} 収 ^{おも} や ^{おも} 集 ^{おも} 計 ^{おも} な ^{おも} ど ^{おも} の ^{おも} よ ^{おも} う ^{おも} に ^{おも} な ^{おも} る ^{おも} の ^{おも} で ^{おも} し ^{おも} ょ ^{おも} う ^{おも} か。

^{いしわたいいん} 石渡委員 ^{かいとうほうほう} 回 ^{かんが} 答 ^{おも} 方 ^{おも} 法 ^{おも} も ^{おも} 考 ^{おも} え ^{おも} な ^{おも} く ^{おも} て ^{おも} は ^{おも} い ^{おも} け ^{おも} ま ^{おも} せ ^{おも} ん ^{おも} が、 ^{おも} 前 ^{おも} 期 ^{おも} の ^{おも} と ^{おも} き ^{おも} も ^{おも} アン ^{おも} ケ ^{おも} ー ^{おも} ト ^{おも} を ^{おも} や ^{おも} っ ^{おも} て ^{おも} い ^{おも} て、 ^{おも} 学 ^{おも} 校 ^{おも} を ^{おも} 通 ^{おも} っ ^{おも} て ^{おも} アン ^{おも} ケ ^{おも} ー ^{おも} ト ^{おも} を ^{おも} 配 ^{おも} 布 ^{おも} し、 ^{おも} 窓 ^{おも} 口 ^{おも} を ^{おも} 指 ^{おも} 定 ^{おも} し ^{おも} て ^{おも} 返 ^{おも} 答 ^{おも} し ^{おも} て ^{おも} も ^{おも} ら ^{おも} い ^{おも} ま ^{おも} した。

^{はらぶかいちょう} 原部会長 ^{がっこう} 学 ^{ねが} 校 ^{とき} に ^{おも} お ^{おも} 願 ^{おも} い ^{おも} した ^{おも} 時 ^{おも} も、 ^{おも} 行 ^{おも} 政 ^{おも} から ^{おも} お ^{おも} 願 ^{おも} い ^{おも} して ^{おも} も ^{おも} ら ^{おも} い ^{おも} ま ^{おも} した。

^{はたいいん} 畑委員 ^{しんようせい} 信 ^あ 用 ^{おも} 性 ^{おも} を ^{おも} 上 ^{おも} げ ^{おも} る ^{おも} た ^{おも} め ^{おも} に ^{おも} は、 ^{おも} 区 ^{おも} 民 ^{おも} 会 ^{おも} 議 ^{おも} 名 ^{おも} を ^{おも} 使 ^{おも} い ^{おも} つ ^{おも} つ、 ^{おも} 区 ^{おも} の ^{おも} 名 ^{おも} 前 ^{おも} も ^{おも} 使 ^{おも} わ ^{おも} せ ^{おも} て ^{おも} も ^{おも} ら ^{おも} っ ^{おも} て ^{おも} 実 ^{おも} 施 ^{おも} した ^{おも} 方 ^{おも} が、 ^{おも} 回 ^{おも} 答 ^{おも} 率 ^{おも} も ^{おも} 高 ^{おも} い ^{おも} と ^{おも} 思 ^{おも} い ^{おも} ま ^{おも} す。

^{いしわたいいん} 石渡委員 ^{だんたい} そ ^{おも} れ ^{おも} な ^{おも} り ^{おも} の ^{おも} 団 ^{おも} 体 ^{おも} は ^{おも} 所 ^{おも} 在 ^{おも} 地 ^{おも} や ^{おも} 事 ^{おも} 務 ^{おも} 局 ^{おも} が ^{おも} 分 ^{おも} か ^{おも} る ^{おも} の ^{おも} で、 ^{おも} そ ^{おも} こ ^{おも} に ^{おも} 郵 ^{おも} 送 ^{おも} し、 ^{おも} 返 ^{おも} 答 ^{おも} 先 ^{おも} と ^{おも} し ^{おも} て、 ^{おも} 区 ^{おも} 民 ^{おも} 会 ^{おも} 議 ^{おも} の ^{おも} 事 ^{おも} 務 ^{おも} 局 ^{おも} と ^{おも} い ^{おも} う ^{おも} 形 ^{おも} の ^{おも} 区 ^{おも} 役 ^{おも} 所 ^{おも} に ^{おも} す ^{おも} れ ^{おも} ば ^{おも} い ^{おも} い ^{おも} と ^{おも} 思 ^{おも} い ^{おも} ま ^{おも} す。

^{はらぶかいちょう} 原部会長 ^{さまさま} 様 ^{だんたい} 々 ^{おも} な ^{おも} 団 ^{おも} 体 ^{おも} が ^{おも} 色 ^{おも} 々 ^{おも} な ^{おも} 活 ^{おも} 動 ^{おも} を ^{おも} し ^{おも} て ^{おも} い ^{おも} て、 ^{おも} さ ^{おも} ら ^{おも} に ^{おも} は ^{おも} 横 ^{おも} の ^{おも} 繋 ^{おも} が ^{おも} り ^{おも} が ^{おも} 無 ^{おも} く、 ^{おも} そ ^{おも} れ ^{おも} ぞ ^{おも} れ ^{おも} の ^{おも} 団 ^{おも} 体 ^{おも} が ^{おも} そ ^{おも} れ ^{おも} ぞ ^{おも} れ ^{おも} で ^{おも} 活 ^{おも} 動 ^{おも} し ^{おも} て ^{おも} い ^{おも} る ^{おも} と ^{おも} い ^{おも} う ^{おも} 課 ^{おも} 題 ^{おも} も ^{おも} 見 ^{おも} え ^{おも} て ^{おも} き ^{おも} た ^{おも} の ^{おも} で、 ^{おも} アン ^{おも} ケ ^{おも} ー ^{おも} ト ^{おも} 調 ^{おも} 査 ^{おも} を ^{おも} 実 ^{おも} 施 ^{おも} す ^{おも} 場 ^{おも} 合、 ^{おも} 先 ^{おも} 程 ^{おも} 石 ^{おも} 渡 ^{おも} 委 ^{おも} 員 ^{おも} が ^{おも} 言 ^{おも} わ ^{おも} れ ^{おも} た ^{おも} よ ^{おも} う ^{おも} に、 ^{おも} モ ^{おも} デ ^{おも} ル ^{おも} 的 ^{おも} に

ある地域ちいきに絞しばって実施じっししてみることが良よいと思おもいました。

畑委員はたいいん 例たとえば、同おなじ見守みまもり活動かつどうでも、民生委員みんせいいんと老人クラブろうじんくらぶのやっやっていること
が違ちがっている場ばああいもあります。民生委員みんせいいんよりよりも老人クラブろうじんくらぶの方ほうが、歴れきししが古ふるく、
草くさむしりから通院つういんの移送いそうまで、幅はば広ひろく活かつ動どうしています。モもデでルる的てきに地ち域いきを絞しばる
といいつても、活かつ動どうのない内よう容ことが異いななるので、選せん定ていは難むずかしいかもしれませせん。

新井委員あらいいいん 民生委員みんせいいんは、赤あかちゃんから高こう齢れい者しゃままでの見守みまもりを行おこなっているのはば
が広ひろく、その分ぶん活かつ動どうも様さま々ざです。今こん回かいの調ちょう査さも3年さんねんに1回いちかいのものなで、たたまたま
今こと年しにやっやっているといいう状じょう況きょうです。
区民会くみんかい議ぎで調ちょう査さをすするとななると、どどういいつた調ちょう査さが適てき切せつななのかとなも悩なやまし
いと思おもいます。

知念委員ちねんいん 情じょう報ほうをあつ集まめて、様さま々ざな団だん体たいの連れん携けいがカかギぎにななると思おもいます。

畑委員はたいいん 調ちょう査さだだけししても意い味みが無ないので、アあんケけーとのああと、盛さかんに活かつ動どうをして
いいる団だん体たいに焦しょう点てんを当あてて、深ふか堀ぼりしてしてみみるななどしてしていいく必ひつ要ようがああると思おもいま
す。ままた、このアあんケけーとの結けつ果かをしっかり各かく団だん体たいに公こう表ひょうして、情じょう報ほうの共きょう有ゆう
ななどをはかかり、おお互たがいだんの団だん体たいの刺しげ激きにななれば良よいと思おもいます。

知念委員ちねんいん 各かく団だん体たいがどどれれだだけ連れん携けいしああつつていいるかかをしることも大たい切せつだだと思おもいま
す。どどれれだだけ活かつ動どうがオおーばーらッぷででききていいるかか、そそういいつた部ぶ分ぶんも
アあんケけーとで知しりたたいいです。

石渡委員いしわたいいん それぞそれれの活かつ動どうをアあんケけーとで調しらべて、そそのの結けつ果かをもととに、我われ々われも認にん識しき
を深ふかめると同どう時じに、各かく団だん体たいがたがおれん互けいいに連ね携つして、ネこツうワちクくが構こう築ちくされて、
協きょう議ぎ会かいのよような会かいを設せつ立りつして、おたが互たがいしげがしげききを刺い激めしああうといいうイいメめーじジじが
良よいと思おもいます。つつままり、アあんケけーと調ちょう査さ後ごに何なにをすすれば良よいのかといいうと、
情じょう報ほう交こう換かん会かいをかいかいして、おたが互たがいりの活かつ動どうを理れん解けいして連れん携けいしていいくこことが考かんえら
れれます。そそれが区民会くみんかい議ぎの目もく標ひょうであると思おもいます。

新井委員あらいいいん 今こん後ご、団だん塊かいの世せい代だいがリりタイたいアあし始はじじめ、要よう支し援えん1いちや要よう支し援えん2になどは、こ
れこれかかららは各かく地ち域いきでみて下くださいといいう方ほう向こう性せいにななつてききていいます。区民会くみんかい議ぎでこ
れこれを調ちょう査さして、各かく団だん体たいの連れん携けいをはかかつていいく段だん階かいをはなあららばばももう
設もうけ

られれば、^{ちいき}地域でどのように見守^{みまも}っていけばいいのかという^{ほうしん}方針ができれば
非常に^{ひじょう}良い^よ気が^きします。町会^{ちょうかい}がなかなか^{かいにゆう}介入^{めん}してこない^{もんだい}面^{めん}が問題^{もんだい}でもありま
すが、町会^{ちょうかい}が動^{うご}いてくれる^{もつと}ことが最^{かくだんたい}も各団体^{かつどう}にしても活動^{かつどう}しやすくなり、
情報^{じょうほう}もまとまりやすくなると^{おも}思います。

石渡委員^{いしわたいいん} そのとおりで^{おも}と思います。町会^{ちょうかい}は守備^{しゅび}範囲^{はんい}が広^{ひろ}いので、前向^{まえむ}きな姿勢^{しせい}
になってくれると^{ひじょう}非常に^{ちからづよ}力強い^{みかた}味方^{おも}になると^{おも}思います。そう^いいった^み意味^いでは、
町会^{ちょうかい}を巻^まき込む^こことが大切^{たいせつ}なので、アンケ^{あん}ートの^け調査^け対象^とから外^{はず}せないと思^{おも}
います。

畑委員^{はたいいん} 川崎^{かわさき}区には大^{だい}企業^{きぎょう}が多^{おほ}くあり、東^{とう}京^{きょう}電^{でん}力^{りよく}や東^{とう}京^{きょう}ガ^がス^すなどは地^ち域^{いき}
サー^{さー}ビス^{びす}課^かという部^ぶ署^{しよ}をつ^つく^つてお^おり、地^ち域^{いき}に^{たい}対^{たい}して何^{なに}か^さし^らの^{さー}ビス^{びす}を
提^て供^{きょう}して^いるので、^{きぎょう}そう^いった^{れんけい}企^{かん}業^{ぎょう}と連^{れん}携^{けい}して^かや^かっ^てい^いく^ことも^{かん}考^{かん}え^られ^る
と思^{おも}います。現^{げん}実^{じつ}に^{いま}今^{いま}、町^{ちょう}内^{ない}会^{かい}など^びで美^み化^か活^{かつ}動^{どう}を^{きぎょう}す^ると^てき^はに^は企^き業^{ぎょう}も手^て伝^{でん}
て^くれ^るし、地^ち域^{いき}の^{うんどう}運^{うん}動^{どう}会^{かい}を^{ちょう}町^{ない}内^{かい}会^{かい}と^{きぎょう}企^き業^{ぎょう}で^ちや^いっ^てい^る地^ち域^{いき}も^あり^ます。^また、^{きぎょう}企^き業^{ぎょう}の^{しゃいん}社^{しゃ}員^{いん}と^{ちょう}町^{ない}内^{かい}会^{かい}など^いっ^{ぱく}り^{りょ}こ^うを^おこ^な
な^らず、^{きぎょう}企^き業^{ぎょう}の^{しゃいん}社^{しゃ}員^{いん}と^{ちょう}町^{ない}内^{かい}会^{かい}など^いっ^{ぱく}り^{りょ}こ^うを^おこ^な
な^らず、^{ちいき}そう^いった^{ちいき}地^ち域^{いき}は、^{ちょう}町^{ない}内^{かい}会^{かい}が^{せつき}積^{せき}極^{ごく}的^{てき}に^{きぎょう}企^き業^{ぎょう}に^{はたら}働^{はたら}き^かけ^をし^て、^{れんけい}連^{れん}携^{けい}の^{きばん}基^き盤^{ばん}
をつ^つく^つて^いま^す。そ^のよ^うな^ことも^し視^し野^やに^いれ^なが^ら、^{ちいき}でき^らば^いい^なと^{おも}思^{おも}
い^ます。

新井委員^{あらいいん} 企^{きぎょう}業^{ぎょう}は地^ち域^{いき}に迷^{めい}惑^{わく}を^いか^かけ^てい^るとい^う意^い識^しを^も持^もっ^てい^るこ^とが^{おほ}く、
地^ち域^{いき}活^{かつ}動^{どう}を^{たい}大^{たい}切^{せつ}に^して、^{ちょう}町^{ない}内^{かい}会^{かい}と^{れんけい}連^{れん}携^{けい}して^いる^じ事^じ例^{れい}は^{おほ}多^{おほ}いと^{おも}思^{おも}い^ます。^わ私^わの
地^ち域^{いき}で^は、^{ちいき}婦^ふ人^{じん}会^{かい}に^{たい}対^{たい}して^かど^うき^{ょう}華^わ道^{どう}教^{きょう}室^{しつ}を^{ひら}開^{ひら}い^ても^らっ^て、^{なが}長^{なが}く^{つづ}続^{つづ}い^てい^ます。^{きぎょう}企^き業^{ぎょう}
は^{なに}何^{なに}か^ちし^ら地^ち域^{いき}の^{ひと}人^{ひと}に^{かんげん}還^{かん}元^{げん}し^{たい}とい^う意^い識^しを^も持^もっ^てい^るので、^{れんけい}連^{れん}携^{けい}も^{でき}
る^ことも^{おも}思^{おも}い^ます。

畑委員^{はたいいん} イ^いト^とー^よー^かド^ーー^は高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}の^{いえ}家^{いえ}へ、^{しょうひん}商^{しょう}品^{ひん}の^{たくはい}宅^{たく}配^{はい}な^どを^やっ^てい^るし、
そ^うい^った^{きぎょう}企^き業^{ぎょう}の^{ちから}力^{ちから}も^{つか}使^{つか}っ^てい^くべ^きだ^と思^{おも}い^ます。

知念委員^{ちねんいいん} 企^{きぎょう}業^{ぎょう}に^{あん}ア^んケ^けー^とト^とする^ことも^よ良^よいと^{おも}思^{おも}い^ます。

原部会長^{はらぶかいちよう} そ^の場^ば合^あい、^{かわさき}川^{かわ}崎^{さき}区^{ぜん}全^{ぜん}区^くを^{たい}対^{たい}象^{しょう}と^する^ので^しょう^か。

石渡委員^{いしわたいいん} 川^{かわ}崎^{さき}区^{ぜん}全^{ぜん}区^くは^{むずか}難^{むずか}しい^{おも}と思^{おも}う^ので、^{ちく}そ^のれ^ぞれ^の地^ち区^くか^らモ^でル^的的^{てき}に

ちゅうしゅつ ちゅうしゅつ
抽出していくと良いと思います。

ちねんいん ちやうないかい ちいき せんてい ひつよう おも きぎやう かわさき
知念委員 町内会などは地域を選定する必要があると思いますが、企業は川崎
くにあるおおききぎやう すべ もうら よ
区にある大きな企業は全て網羅したほうが良いかもしれません。

いしわたいいん ちいきかつどう せつきよくてき きぎやう きぎやう おも
石渡委員 地域活動に積極的な企業もあるし、そうでない企業もあると思うの
で、代表的な事例がある企業だけで良いと思います。

はらぶかいちやう ほんじつ ぐたいてき ぎろん おも はたいいん ほう
原部会長 本日かなり具体的な議論ができたと思うので、畑委員の方で
あんけーと ちやうさ わくぐ こうそうあん
アンケート調査の枠組みの構想案のようなものをつくってもらえると良いと
おも ほんじつ けつせき いん おお じかい ぶかい こうそうあん みが
思います。本日は欠席されている委員も多いので、次回の部会で構想案を磨い
ていくこととします。また、少し気になるのはそういった調査の場合の予算は
だいじやうぶ
大丈夫なのでしょうか。

じむきよく ゆうそうだいていど だいじやうぶ
事務局 郵送代程度であれば大丈夫です。

はたいいん
畑委員 では、アンケートのたたき台を作成したいと思います。

はらぶかいちやう ねが
原部会長 よろしくお願ひします。

はらぶかいちやう つづ しんぎて ーま せだいかんこうりゆう そくしん ぎろん すす
原部会長 続いて、審議テーマ2「世代間交流の促進」について議論を進めた
いと思います。これに関しては、昨年度、大師地区で子ども育成支援団体同士
のじやうほうこうかんかい かいさい
情報交換会が開催されたが、それを進めていくというご意見が出たと思
います。また、ほんじつ あらまきいん けつせき えほん よき
本日、荒巻委員が欠席なのですが、絵本の読み聞かせなどによる
せだいかんこうりゆう じつたいはあく そくしんさく けんとう て ーま
世代間交流の実態把握と促進策の検討というものもあります。テーマ1でも
ご意見が出たように、これからくみんかいぎ
区民会議としてどう進めていくのかといった視
てん ぎろん おも
点で議論していただければと思います。

いしわたいいん せだいかんこうりゆう なか こ いくせい い せだいかんこうりゆう こ
石渡委員 世代間交流の中に、子どもの育成を入れて、「世代間交流と子ども
の育成」ひとつのテーマとしてほしいです。私のイメージとしては、じやうほうこうかん
会の開催までは良かったが、その後はどうなったのかというご意見が全体会で
も出ました。実はその後は進展していません。そのため、こんねんどうかいさい
今年度開催したいと
かんが くみんかいぎ じむきよく ねが かい あんない
考えていますが、区民会議の事務局にお願いしたいことがあり、その会の案内

はっそう
の発送などをしてほしいとおもいます。ぜ ひ こんねんどまつ だい かい かいさい
です。また、へいこう ほか ちいき かいさい もくろ かんが
してはたじまちく かんが はないん
を 考 えて います。 畑 委 員 い か が で し ょ う か。

はたいん たじまちく こそだ さろん こそだ さーくる かつどう おこな
畑委員 田島地区でも子育てサロンや子育てのサークルがあり、活動は行っ
て います。

いしわたいん だい かいめ もでるてき だいしちく たじまちく おな
石渡委員 第1回目をモデル的に大師地区でやったので、田島地区でも同じこと
が 開 催 で き な い か と 考 えて います。

はたいん やまだいん 民生せいいん こそだ さろん じょうほうこうかんかい
畑委員 山田委員は民生委員で子育てサロンなどをやっているし、情報交換会
の 開 催 は 十 分 可 能 で す。

いしわたいん だいしちく ばあい さいしゅうてき じむきょく おお きょうりょく しりょう
石渡委員 大師地区の場合は、最終的に事務局に大きな協力をいただき、資料
な ど を つ く っ て も ら い ま し た 。 こ う い っ た 会 を 継 続 さ せ て こ そ 、 区 民 会 議 の
せいか じっせん おも
成 果 、 実 践 に な る と 思 い ます。

はたいん かわさきく こそだ かつどう こそだ さろん こそだ さーくる ははおや
畑委員 川崎区の子育ての活動としては、子育てサロン、子育てサークル、母親
く ら ぶ ほんぼしら せだいかんこうりゅう こそだ しえん いみあ
クラブの3本柱があり、世代間交流といたながらも子育て支援の意味合いが
つよ おも せだいかんこうりゅう さろん さーくる かつ かい
強いと思います。世代間交流としては、サロンやサークルにどのような方が会
いん になって いるかだと思 います。た と えば、ろうじんく ら ぶ ひと 民生せいいん
員 になっ ているかだと思 います。例 えば、老人クラブの 人 が いた り、民生委員
さん が いた り、がくせい はい せだい こと ひとたち はい
さん が 入 っ て いた り、学 生 が 入 っ て いた り、世 代 の 異 なる 人 達 が 入 っ て いた り、それ
は 世 代 間 交 流 が で き て いる と 思 い ます。

あらいいん こそだ くらぶ なつやす りょう がくせい ぼらんていあ
新井委員 子育てクラブでいうと、夏休みを利用して学生さんをボランティアと
し て 呼 ん だ り し て いて、子 ども が と て も 喜 ん で います。

はたいん さいきん ふじさき ほう べとなむ じんりゅうがくせい しゅうだん あぼーと か
畑委員 最近だと、藤崎の方でベトナム人留学生が集団でアパートを借りたり
し っ て いて、そ う い っ た 若 者 の パ ワ ー を 入 れ る と 自 然 に 世 代 間 交 流 に な っ て い
く の で は な い か と 思 い ます。子 育 て を 中 心 に、様 々 な 人 々 を 引 き 込 ん で い く
こ と が で き れ ば 良 い と 思 い ます。

あらいいん ぜろ きばん
新井委員 ゼロから基盤をつくっていくよりも、そうやってできあがったものに
さまざま ひと こ ほう せだいかんこうりゅう ちかみち
様 々 な 人 を 巻 き 込 ん で い く 方 が 世 代 間 交 流 の 近 道 か も し れ ま せ ん。

ちねんいん がいこくじんりゅうがくせい ま こ よ おも
知念委員 外国人留学生を巻き込むことは良いと思います。

はらぶかいちょう ふじさき べとなむ じんりゅうがくせい わたし し かれ にほんご
原部会長 その藤崎のベトナム人留学生は私も知っていて、彼らは日本語もで
きるし、しっかりしていて、彼らも日本との交流の場を求めているので、是非
そういったコミュニティを引き込めれば、世代間交流ができると思います。

はたいいん おだ くらぶ いべんと たび きょうまちゅうがく がくせい
畑委員 小田のまちづくりクラブでは、イベントの度に京町中学の学生さんが
来てくれて、非常に助かっています。それは世代間交流になっていると思
います。

ちねんいん だいさんせい さくねんど だいしちく さんか みな まんぞく
知念委員 大賛成です。昨年度、大師地区でやって、参加しましたが、皆さん満足
していたように思います。ぜひ田島地区でも実施していくべきだと思います。

はらぶかいちょう ぎろん さくねんどだいしちく かいさい こ いくせいしえんだんたい
原部会長 議論をまとめると、昨年度大師地区で開催した子ども育成支援団体
同士の じょうほうこうかんかい を、たじまちく でも かいさい じむきょく
情報交換会を、田島地区でも開催するということで、事務局にもご
協力いただきながら進めていきたいとします。また、絵本の読み聞かせに
ついては、あらまきいん ほんじつけせき じかいぎろん けんとう
荒巻委員が本日欠席なので、また次回議論、検討していきたいと思
います。

はらぶかいちょう つづ しんぎて ーま がいこくじんしみん ぐ
原部会長 続いて、審議テーマ3「外国人市民も暮らしやすいまちづくり」につ
いて議論を進めたいとします。こちらは、がいこくじんしえんだんたい れんけい ぼうさい
外国人支援団体と連携した防災
フォーラムの開催ということで、わたし ほう じょうほうていきょう
私の方から情報提供させていただければ
と思います。2ヶ月後の2月に開催する防災フォーラムについて打ち合わせを
おこな とき はな がいこくじん かた じしん じゅうしょ ひなん
行いました。その時に話したこととしては、外国人の方は自身の住所や避難
ばしょ し おお ちょうかい ちいき つな きかい な おお
場所を知らないことが多く、町会などの地域と繋がる機会も無いのが大きな
課題であるということです。やはり言葉の壁や文化や生活習慣の違いがあり、
なかなか日本人との繋がりが持てない状況があり、もっと日本人と触れ合い
たいと思っ ている がいこくじん おお じつたい おも
外国人が多いのが実態だと思います。そのため、がいこくじん し しみん
外国人市民
の人にも防災に関する意識啓発が必要だということで、がいこくじん し しみん ぼうさい
外国人市民向けの防災
フォーラムを開催することにしています。既存のコミュニティに外国人を入れ
こ いたら がいこくじん こみゆにてい ちいき つな も
込むのではなく、新しい外国人のコミュニティをつくり、地域との繋がりを持
っていくということが良いと かんが
考えています。

今年の6月に開催した防災フォーラムに引き続き、開催していくことと、識字学級に見学に行ったときにはここでも防災に関する取り組みを区民会議としてできれば面白いと思えました。また、貝塚カトリック教会では、フィリピン人、ベトナム人、ペルー人などの外国人が毎週200人集まっています。その場が外国人同士の情報交換の場にもなっています。そのため、そこと連携して防災フォーラムを開催しようと計画しています。本日はチラシ案もお持ちしています。区役所の危機管理担当の方にもご協力いただき、形にはなりそうなので、識字学級の見学のように、区民会議委員の皆さんも見に来て、どういった外国人市民がいるのか見ていただければと思います。

石渡委員 チラシの言語は外国語版もつくるのでしょうか。

原部会長 カトリック貝塚教会に集まっているフィリピン人、ベトナム人、ペルー人向けの言語のものはつくりたいと考えていますが、川崎区の外国人割合でいえば中国人が最も多いので、どうしようかと考えているところです。区役所の危機管理担当も内部で企画していたので、スムーズに実現できそうです。当日の通訳などもつけることができるかもしれません。また、これを毎年繰り返し開催し、積み重ねていくことが重要だと思います。

畑委員 起震車もよく確保できたと思います。防災の取り組みに関しては、来年も再来年もどんどん続けていくことが大切だと思います。費用的な面もあまりお金をかけずに開催することも可能だと思います。唯一心配なのが天気ですが…。

原部会長 悪天候の場合の想定はまだ全くしていません…。通訳に関しても一応無料ではありませんが、ボランティア謝礼程度を考えているので、少ない予算で実施できると思います。
外国人市民意識実態調査については、何か進捗はあったのでしょうか。

事務局 現在集計中で、年度末に報告書が完成する見込みです。進捗があり次第、御報告します。

(2) 平成26年度区民会議フォーラム(案)について(資料5)

じむきょく しりょう せつめい
事務局<資料5について説明>

いしわたいいん まいかいき さんかしやすう かくだんたい さんか かんが
石渡委員 毎回気になるのが参加者数です。各団体からの参加が考えられます
が、昨年(さくねん)は民生委員(みんせいいいん)さんがかなり多く参加(おおさんか)してくれてなんとか面目(めんぼく)を保(たも)つた
記憶(きおく)しています。できれば町内会連合会(ちょうないかいれんごうかい)にもご理解(りかい)をいただき、それぞれの
町会(ちょうかい)からの参加(さんか)を呼びかけていただければと思います(おも).

じむきょく しゅうち かん いけん さんこう さまざま だんたい こえ か
事務局 周知(しゅうち)に関してはご意見(いけん)を参考(さんこう)に様々な団体(さまざまだんたい)さんに声(こえ)を掛(か)けていきたく
と思います(おも).

ちねんいいん きょねんさんか おも どうじ もよお ひと ぶんさん
知念委員 去年(ちねん)参加(きょねん)して思(おも)ったのは、同時(どうじ)にいくつもの催(もよお)しがあつて、人(ひと)が分散(ぶんさん)
してしまつたようにも思(おも)えるし、参加者(さんか)目線(めせん)で考(かん)えれば、どれもやってみた
いのにどれか(せんたく)を選(せん)択(たく)しなければいけ(い)ない状(じょう)況(きやう)になつていて残念(ざんねん)に思(おも)いまし
た。その点(てん)、今(こん)回(かい)の案(あん)では、その心配(しんぱい)は少(すく)ないと思(かん)じます。

じむきょく いけん さんこう
事務局 ご意見(いけん)は参考(さんこう)にさせていただきます。

あらいいいん だんたい かが さまざま かた あつ しゅうち ほうほう
新井委員 団体(だんたい)に限(かぎ)らず、様々(さまざま)な方(かた)に集(あつ)まってもらいたいです。周知(しゅうち)の方法(ほうほう)
工夫(くふう)する必要(ひつよう)があると思(おも)います。

はらぶかいちょう ぶかい ないよう あん よ おも すず
原部会長 この部会(ぶかい)としては、内容(ないよう)はこの案(あん)で良(よ)いと思(おも)うので進(すす)めていただけれ
ばと思(おも)います。

じむきょく しゅうち ほうほう ないよう ひ つづ けんとう おも
事務局 周知(しゅうち)の方法(ほうほう)や内容(ないよう)も引(ひ)き続(つづ)き検(けん)討(とう)したいと思(おも)います。

(3) 審議スケジュールについて(資料6)

じむきょく しりょう せつめい
事務局<資料6について説明>

いいんいちどう とく いけん
委員一同 特(とく)に意見(いけん)なし。

4 その他

じむきょく くみんかいぎ こうりゅうかい へいせい ねん がつ にち げつ かいさい
事務局 区民会議(くみんかいぎ)の交(こう)流(りゅう)会(かい)について、平成(へいせい)27年(ねん)2月(がつ)9日(にち)(月(げつ))に開催(かいさい)いたし
ます。参加(さんか)確認(かくにん)とともに自己紹介(じこしょうかい)シート(しーと)の記(き)入(にゅう)もよろしくお願(ねが)いします。

ごごじ ぶんへいかい いじょう
午後8時30分閉会(ごごじ ぶんへいかい) (以上)